

## 令和8年 新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、御家族ともども穏やかな新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

また、平素から地域における交通安全活動に多大なご尽力を頂くとともに、当協会の諸活動に深いご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年中の県内における交通事故情勢につきましては、人身事故の発生件数、負傷者数が若干増加したものの、死者数は48人で前年と比べて1人減少することができました。これもひとえに、交通安全活動に真摯に寄与された皆様のご理解ご協力によるものであります。

一方、個別の交通事故情勢に目を向けてみますと、依然として死者数のうち高齢者の割合が過半数を占めていることや、高齢者が加害者となる事故も増加傾向であることに変わりなく、高齢者を対象とした効果的な交通事故防止対策が一層重要であると考えております。また、当県では、中高生の自転車事故の割合が全国ワースト上位で推移していることから、自転車の交通安全対策が課題であると認識しているところであります。

昨年度、当協会におきましては、各地区交通安全協会を中心に、関係機関団体等と協力して各季の交通安全運動を中心に様々な交通安全諸対策を推進してまいりました。

特に、高齢者の交通事故防止対策としては、女性部が高齢者宅を訪問して、交通安全に向けたアドバイスを行うとともに、普段使用している靴に反射材を貼る「足元に生命（いのち）の発信運動」を推進しました。

こどもの交通事故防止対策としては、小学校に入学する全新1年生に、黄色い交通安全傘を贈呈したほか、交通安全ポスターコンクールやこども交通安全自転車大会を開催するなど、広範な交通安全対策を実施したところです。

本年におきましても、これまで実施してきた取組を更に発展強化するなどして、交通事故総量の減少に向け、組織一丸となって各種交通安全対策を講じる所存です。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多い年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和8年1月

公益財団法人群馬県交通安全協会

理事長 町田 錦一郎